



ほけんだより



4月号

令和8年4月
キッドワールドこども園
園長：高津 宏児
看護師：飯倉 ゆみ

ご入園、ご進級おめでとうございます。

暖かな春の日差しと共に新年度がスタートしました。ひとつ大きくなったという喜びと期待いっぱいの笑顔に出会うことが出来、とても嬉しく思います。

初めてこども園生活を始める子どもたち、進級してお兄さんお姉さんになった子どもたち、共にこれからの成長が楽しみです。今年度もよろしくお祈りします。

生活リズムを整えよう！

入園・進級で環境が変わった4月は、生活リズムを改善する良い機会です。正しい生活リズムを身に付け、健康な体を作りましょう。



早寝早起きをしよう

睡眠は、脳や体の発達を促す大切な時間です。子どもが寝る時間に近づいたら、大人も就寝前の雰囲気を作るようにしましょう。



ご飯はしっかり食べよう

ご飯を食べると体が目覚め、その1日を元気に過ごすことが出来ます。朝ご飯はよく噛んで、しっかり食べるようにしましょう。

うんちは出たかな？

朝ご飯を食べると腸の動きが活発になり、排便しやすくなります。



新生活の始まりです。

爪はきれいですか？



爪が伸びていると折れたり、友だちを引っ掻いてしまったりと、怪我の原因になります。また爪は、汚れが溜まり不潔になりやすいところにもかかわらず、指しゃぶりや爪を噛むくせのある子も多く、汚れたままにしておくとばい菌を直接取り込んでしまいます。週に一度は、指先のチェックを行うようにしましょう。

靴は足に合っていますか？

子どもの足は、あっという間に大きくなります。特に散歩の為に置いている靴はサイズが合わなくなっていることがあります。お迎え時に、サイズが合っているかなどチェックをするようにしましょう。



登園前の体調は、大丈夫ですか？

お子さんが1日を元気に過ごせるよう、朝起きたら発熱の有無や食欲の状態、機嫌などの確認をお願いします。

ルクミーでの連絡で、「体調不良」の際は、コメント欄でお熱がある、お腹が痛いなどの様子を必ず知らせて下さい。





こども園のような、集団での生活をする教育・保育施設は、様々な感染症が入れ替わり流行しやすい環境にあります。

感染症について

子どもは細菌、ウイルス、真菌など様々な病原体による感染症にかかりやすく、しかも重症化しやすいのが特徴です。こども園など集団での生活を始めると、なおさら感染症にかかりやすくなるといえるでしょう。

・感染症にかかる
・予防接種を受ける



免疫を
獲得



その感染症にかかりにくくなる

感染した
時は？



発熱・咳・下痢などの症状は、病気を治すうえで必要なからだの症状でもあります。症状によっては、こども園をお休みし、安静にすることが必要となります。

水分を十分に摂り、消化の良い食べやすい食事の工夫をし、衣服や室温・湿度に気を配り、からだや気分が少しでも快適になるようにケアをしましょう。



予防接種は、病気にかかりにくくなったり、かかっても軽症で済んだりする場合があります。

予防接種については、5月号・6月号で詳しく掲載します。



蕁麻疹は、突然起こります。

蕁麻疹の原因には、様々なものがあります。蕁麻疹の分類は明確にはされていませんが、こども園で一番気になる蕁麻疹は、アレルギー性蕁麻疹で、主に食べ物に含まれるアレルゲンの反応です。ご家庭で蕁麻疹の症状が出た食材が新たに発見された場合は、担任の先生に報告をお願いします。



アナフィラキシー

アレルギー反応によって、複数の臓器に症状が強くあらわれる状態をアナフィラキシーと呼びます。特に、呼吸状態が悪くなったり、血圧が低下して意識の低下や脱力を来したりする場合は、直ちに医療機関で適切に対応を進めないと**アナフィラキシーショック**を引き起こします。

* 「アナフィラキシーショック」とは、生命にかかわる重篤な状態をいいます。



園で預かる薬について

基本的に園で薬の与薬は行っていません。やむを得ず薬を持参される場合は、下記の要項を必ず守ってください。

- 医師の処方以外の薬はお預かりできません。
- 医師から与薬依頼書を記入してもらい、薬と一緒に提出してください。
(与薬依頼書は職員室に用意しています。)
- 薬情報の提出をお願いします。
- 1回分のみ薬袋に入れて持参して下さい。
- 薬に名前・日にち・飲む時間を明記してください。
- 軟膏塗布・点眼の場合も同様です。
(軟膏・点眼などの外用薬の依頼書有効期間は、2か月以内です。必要であれば、再度提出をお願いします。)
- 登園時に必ず担任に手渡しして下さい。
(手渡しでない場合は、確認が取れない為、与薬いたしません。)